

## 第40回淑楓祭

テーマ  
パズル  
PUZZLE

10/31(土)・11/1(日)

大学

# 節目の年を迎え、さらなる成長を遂げる淑楓祭

長久手キャンパス

星が丘キャンパス

両キャンパスの大学祭実行委員長によるレポートです。

今

年の淑楓祭は「PUZZLE」をテーマとして掲げ、第40回という記念すべき年を迎えました。学内団体による模擬店や教室企画では日々の活動の成果を存分に発表でき、正門から見える10m四方の巨大布絵を始めテーマを意識した数々の装飾物は、淑楓祭に彩りを添えました。

1日目のアーティストライブはMACCOさん、2日目のお笑いライブではキングオブコメディさんをゲストに迎えました。メインステージでは3回目となるヘアショーや新企画の仮装コンテストを行い、OS☆Uさんなど地域のアーティストにもご出演いただき大変盛り上がりしました。目玉企画は1年ぶりに「お化け屋敷」が復活し、子ども達から大人の方

今

まで大好評でした。また、後夜祭では恒例のバルーンドロップだけでなく、記念企画として学生有志が制作した「プロジェクト マッピング」を投影し、多くのお客様にご覧いただきました。

2日間で19199人もの来場者数を記録し、地域の皆様に愛される淑楓祭に成長し続けていると実感しています。第40回淑楓祭という「PUZZLE」を創り上げることに協力いただいた関係者の皆様、お越しくださった大勢のお客様へ実行委員会一同心からお礼を申し上げます。

今

年度の淑楓祭は、「PUZZLE」をテーマに、淑楓祭にかかわるすべての方がひとつになることができ、また天候にも恵まれ、来場者の皆様及び実行委員一同も笑顔が溢れる2日間となりました。

星が丘キャンパスを彩った美しい装飾は、見るだけでなく、触れたり、音楽が流れたり、来場者の皆様に大いに楽しんでいただきました。

今

メイン企画であるお化け屋敷では、リタイアする人が続出するほどのクオリティで、多くの方に満足していただきました。脱出ゲームでは子どもから大人まで、幅広い年代の方に楽しんでいただくことができました。

また、第40回記念企画として、アートアーティストであるミレイヒロキさんをお招きし、1日目にはライブペインティングを、2日目には正面階段に130本のライトアップされた花柄の傘を設置するインスタレーションを、そして2日間通してのワークショップを行いました。いずれも大盛況のイベントになりました。

今後も、地域に根差し、愛される淑楓祭を開催できるよう、一層努力してまいります。

第40回淑楓祭開催にあたり、ご協力いただいた関係者の皆様、地域の皆様、団体の皆様、来場者の皆様に対して、実行委員一同厚く御礼を申し上げます。



正門から見える巨大布絵



学生団体による模擬店



はっぴーステージでのクラブ団体パフォーマンス



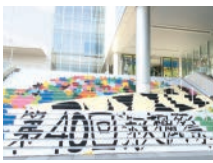
子ども達に人気のバルーンアート企画



第40回 記念企画のプロジェクションマッピング



フィナーレを飾る後夜祭



正面階段装飾



大盛況の模擬店



脱出ゲームを楽しむ親子



ステージ出演中のチアリーディング部「RANGERS」



第40回記念企画の傘のインスタレーション

## ● 沖縄研修旅行

11/4(水)～7(土)

### 中学校

中



首里城の前で

も同年代の女子学生が、自分たちと同じ  
生徒たちにとっては、たとえ映像であつて  
が薄まるのでは、と心配していましたが、  
体験者から直接聞く「ことばの重み」  
を終了し、証言VTRに変更となりました。

学3年生では4月から研修旅行  
行ガイドダンスや沖縄映画鑑賞  
など、沖縄研修の事前学習が始まりま  
す。国語科や社会科の授業でも沖縄を題  
材にした単元を学び、音楽科では沖縄の  
唄も歌います。その他にもクラス独自のし  
おりづくりや平和宣言文づくり、中3全  
員で沖縄に関する知識を競う「沖縄クイ  
ズ大会」など、今年も半年かけて準備を  
進めてきました。実際に沖縄へ行つてみ  
ると、現地で感じる「感覚」と事前学習で得  
た「知識」が一体となり、自然の神秘や歴  
史の重み、戦争の悲劇が強烈に迫つてき  
ます。特に平和学習では、今年から元ひめ  
ゆり学徒隊の高齢化により体験講話が

新たにした研修旅行でした。



ひめゆりの塔で平和を願います



ガマに入ります



三線体験



シーカヤック体験

ように楽しく過ごしていた学生生活から  
変じて過酷な戦場に駆り出され、悲惨な  
最期を遂げた事実を聞くことは、やはり  
衝撃的だったようです。沖縄県民だけ  
ではなく日本人として、この戦争の記憶を  
どのように受け継いでいくのが課題と  
なっています。この後は轟壕、山城本部壕、  
マヤーアブに分かれて実際のガマを体験  
し、生暖かい空気と暗闇の中、研修旅行  
委員が平和宣言文を読み上げて恒久の  
平和を願いました。翌日は、嘉数高台公園  
から移転先の問題を抱える普天間基地と  
オスプレイを眺めました。戦後70年とい  
う節目の年に沖縄を訪れ、一人ひとりが現在  
の平和な社会を実感し、不戦への決意を

## 高等学校

## ● 九州研修旅行

10/26(月)～30(金)

高



太宰府天満宮

つ天下の名城熊本城の石垣、切支丹  
揺れの心地よさ、目の前にそびえた  
北原白秋が水郷と呼ぶ柳川の舟の

校2年生の研修旅行は10月  
26日から30日まで北九州を  
中心に実施されました。9月に阿蘇中  
岳が噴火した影響で草千里見学を  
中止し熊本へとコースを変更しまし  
たが、天候にも恵まれ充実した4泊5日  
となりました。

が迫害を受けたという雲仙地獄  
の霧と熱気とあの臭い……。どれも  
その場で「体験」しなければ解らない  
ものばかり。そして「被爆地・長崎」で  
の下平作江さんの講話。小さな身体  
で淡々と語られる事実の重み、それ  
を伝える意志の力——私たちは確  
実に「言葉」以上のものを受け取り、  
未来への誓いが生まれました。

気の合う仲間だけでないクラスと  
いう集団だからこそ実感できた絆の  
深まりも、研修旅行での「体験」で  
す。九州の地で過ごした5日間のすべ  
てが思い以上の意味を持つ「体験」  
となったことでしょう。



熊本城



平和講話 下平さんのお話



柳川下り



長崎原爆死没者追悼平和祈念館